

2019/1/28～2/3相場見通し

品 目		
鉢 花	鉢花	初市からやや相場は下がってきたものの、まだ雪もなく天候も寒いとはいえ安定していることから例年より流れているといえる。多少波はあるものの概ね球根類は売れており、サイネリアも品薄のため相場は悪くない。 ジュリアン類は販売が苦しい。
	苗物	荷は減ったものの売れ行きは全般的に厳しくなっている。 なんとか売れていたパンジーも非常に厳しくなった。品薄のためビオラは相場が高めで、ランキュラスやアネモネの良品も売れている。
観 葉	大鉢・中鉢	耐寒性の物は売れている。シュロチク・ユッカの良品は品薄。 アルテデシマ・ベンガレンシス・ミンシンネなどは売れ行きは前年並み。
	小鉢	グズマニア・アンスリュウムなどはじわじわ売れ始めた。 ポトスは売れている。アグラオネマ・スパティなどは梱包など寒さ対策が必要。
	ポット	多肉植物などの出荷は多いが売れ行きはイマイチ。 ワイヤー・ヘデラなどは良品は売れている。
洋 蘭	コチョウラン	先週より厳しい流れが続いている。ミディー系はフラワーバレンタインの注文等が入っているが競売での売れ行きは依然として厳しいだろう。
	その他	引き合いは弱いが入荷も少ないため相場は安定している。シンピは立ちもアーチもこの時期にしては動いている。デンドロ類も堅調な動き。
	総括	コチョウランは大輪・ミディー系ともに引き合いが弱く競売も非常に厳しい。しばらくは我慢の時期。その他の属については世界ラン展の需要が見込めるので引き合いが強くなって来る見通し。

販売状況コメント

寒さが厳しくなっているが、入荷も少なく相場は例年より高めとなっている。花苗は少しきつくなっているが大幅な値崩れはなく来ている。花鉢は球根類やサイネリアを中心に売れ、出荷の多いクリスマスローズやプリムラ類が厳しくなっている。観葉鉢は耐寒性の無いものについては相変わらずきつく、やや多肉等も苦戦している。洋ラン類は胡蝶蘭が厳しく、その他の属はラン展の需要が見込める。

(株)フラワーオークションジャパン